

## コールの発信

1

図のように [ダイヤル] をタップします。



2

図のように番号を入力します。



3

番号を入力したら、[発信] キーをタップして、コールを開始します。



## キーボード レイアウト



図のようにタップして、ダイヤルパッドと英数字キーボードを切り替えます。

## 連絡先のリストを使用したコールの発信

特定の人を検索するには、ここをタップして、仮想キーボードを起動してから、名前または番号を入力します。入力すると同時に、一致するエントリが表示されます。3つのリストすべてにおいて、一致するエントリがあるかどうか確認されます。

1

特定のリストでのみ検索する場合は、目的のタブを最初にタップします。



一致したエントリがここに表示されます。タップして、エントリを選択します。選択したエントリのバックグラウンドは青になります。

スマートフォンの場合と同様に、リストをスクロールしてエントリを探すこともできます。タップして、エントリを選択します。

2



エントリを探して選択すると、[発信] メニューが表示されます。

[発信] をタップして、コールを開始します。いくつかのオプションを使用できます。表示されるオプションは、常に状況により異なります。つまり、関係のないオプションは表示されません。たとえば、[お気に入り] リストにすでに存在するエントリを選択した場合、[お気に入り] に追加] は表示されません。

## ビデオ会議の開始 (オプションの機能)

方法 A (MultiSite) :



通話中に [追加] をタップします。



通常の方法で検索またはダイヤルします。



[追加] をタップして、現在のコールを会議に加えます。

参加者を追加するには、この手順を繰り返します。



会議を終了するには [終了] をタップします。

方法 B (MultiWay/CUCM) :



通話中に [追加] をタップします。



通常の方法で新しいコールを開始します。



[マージ] をタップして、現在のコールを会議に加えます。

参加者を追加するには、この手順を繰り返します。



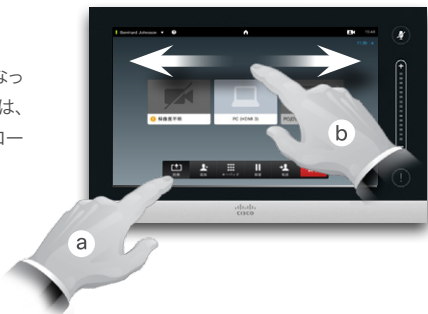
会議を終了するには [終了] をタップします。

# コンテンツの共有

[共有] をタップする前に、プレゼンテーションソースのスイッチがオンになっていて、ビデオシステムに接続されていることを確認します。

1

ソースを接続して、スイッチがオンになっていることを確認します。必要な場合は、[共有] をタップし (a)、水平にスクロールして (b) プレゼンテーションソースを探します。プレゼンテーションソースが見つかったら、目的のソースをタップします。



2

メニューにアクセスするには、三連ピリオド (...) をタップします。メニューでは、選択したソースのコンテンツをプレビューしたり、共有したりすることができます。



3

共有する前に、共有する内容を確認する場合は、[プレビュー] をタップします。確認してから、[共有] をタップすると、実際にソースのコンテンツの共有が開始されます。



4

これで、接続中の参加者全員が共有コンテンツを確認できるようになります。コンテンツの共有を中止するには、図のように [共有を中止] をタップします。



# タッチパッドの紹介



必要に応じて、タッチ画面をタップしてシステムを起動します。



ボタンをタップして機能をアクティブにします。



図のようにリストをスクロールします。

応答不可機能をアクティブ/非アクティブにする場合、スタンバイ機能をアクティブ/非アクティブにする場合、および [設定] にアクセスする場合は、ここをタップします。

ヘルプ デスクの連絡先を呼び出すには、ここをタップします (表示されている場合)。

自画面をアクティブにするには、ここをタップします。

時刻。



タップして、マイクをミュート/ミュート解除します。

ここでボリュームを調節します (タップしてドラッグ)。

不在時に、使用するユーザ宛のメッセージが送られてきた場合は、ここに通知されます。

ダイヤルパッドを呼び出すには、ここをタップします。

[お気に入り]、[ディレクトリ]、および [履歴] を含む連絡先のリストを呼び出すには、ここをタップします。

今後の予定された会議のリストを呼び出すには、ここをタップします。

ボイス メールシステムを呼び出すには、ここをタップします (該当する場合)。

コンテンツの共有を開始し、プレゼンテーションを実施するには、ここをタップします。